

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に確認！

「自らの命は自ら守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

ハザードマップで自宅がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

自宅がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地やがけのそばなどにお住いの場合は、町の避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※立退き避難（自宅の外に避難）が必要です。

例外

※浸水の危険があっても
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまう恐れの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分ある場合は、屋内安全確保（自宅に留まり安全確保すること）も可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、町が指定する指定避難場所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4避難指示が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル4避難指示が出たら、町が指定する指定避難場所に避難しましょう



「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。